

## 16年間まっつまつ計1470トン

冷媒フロン回収機  
オゾン層保護装置

2001年にフロン回収破壊法ができる前から、ヒラキンは自主的にフロンガスを回収していました。回収機1台で「こつこつとフロンを抜いていく姿を「素晴らしい心がけ」と家電メーカーさんからほめていただいたこともあります。家電リサイクル法以降は、多くの回収機を並べた状態で、たくさんフロンガスを回収するようになりました。

冷蔵庫やエアコンの冷媒フロンの回収作業は、グラム単位の管理が要求されます。冷蔵庫のボディーに使用された断熱材中(ウレタンフォーム)に封入されている断熱フロングスは、「オゾン層保護装置」と名付けた専用の設備で回収。残ったウレタンは専用の固形機で燃料化されます。この装置を中四国で所有しているのはヒラキンのみです。言い換えれば、この装置が無ければ冷蔵庫リサイクルの仕事はできないのです。

ほとんどの部署が鉄やステンレスなどトン単位の商品を扱っている中で、グラム単位の戦いを続けるフロンガス回収チーム。こつこつとこれまで回収してきたフロンの総量は16年間で1470トンに上ります(2017年10月現在)。プライドを持ってこれからも適正処理を続けていきます。



オゾン層を守るという使命感で働いています

リサイクルファーム御津 再商品化グループ 次長 逢澤 文孝



断熱ウレタンを固形燃料化するプラント